

報 告

「2021年度 創価大学法科大学院
教員研究活動報告会」

FD 委員長 花房 博文

本研究会は、教員相互の研究活動の活性化と共有を図る趣旨で開催致します。

報告担当の先生は、現在、取り組んでいらっしゃる研究内容について、

1) 問題点の所在, 2) 実務や学説等の状況, 3) 考察・提言, 4) 進捗状況・発表予定等について、報告時間45分 (+ 質疑応答時間15分) 程度の予定でご報告をお願い致します。

また、当日のレジュメは各報告担当の先生でご準備をお願い申し上げます。

2021年度からは、研究活動の一層の活性化をめざして、報告時間が少ない点を改善し、より多くの教員の研究報告ができるように、四半期に一度、報告者2～3名のペースで「研究活動報告会」を開催していく予定です。

報告者の研究概要の報告を通じて、相互に他の研究者の研究領域に関心を広げ、研究活動面においても一層の連携を深めることができましたら幸いかと存じます。ご多忙中とは存じますが、奮ってご参加、ご議論、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

第1回

日時・場所

2021年9月6日(月) 午後16:00～19:00

(研究科委員会終了後に ZOOM で研究会を開催)

報告

- 1 「精神障害による自殺について保険会社の自殺免責が認められなかった事例

—東京地判令和2年7月10日(判例集未掲 LEX/DB 25585746)—

(同研究は、「保険事例研究会レポート」公益社団法人生命保険文化センター、2021年9月、344号1頁以下に掲載。)

黒木 松男 教授

- 2 「冒頭規定説・貸借型理論と非典型契約の要件事実」

(同研究は本誌29頁以下を参照。)

田村 伸子 教授

- 3 「インターネット上の名誉毀損に関するアメリカ法の変化—McKee 対 Cosby 事件を中心に—」

(同報告レジュメは本誌115頁以下を参照。)

土平 英俊 准教授

第2回

日時・場所

2022年1月7日(金) 午後18:00～21:00

(研究科委員会終了後に ZOOM で研究会を開催)

報 告

- 1 「同性婚カップルを里親と認めない里子斡旋団体の信教の自由
— Fulton v. City of Philadelphia, 141 S. Ct. 1868 (2021) —」
(同研究は、早稲田大学比較法研究所「比較法学」56巻1号(2022年6月)に掲載予定。)

神尾 将紀 准教授

- 2 「取調べへの弁護人立会い権を巡る裁判所の意識の変化」
(同研究は本誌83頁参照。)

岡本 梢 准教授

第3回

日時・場所

2022年1月21日(金) 午後16:30～18:30

(ZOOMで研究会を開催)

- 1 「詐欺罪における『重要事項性』に関する考察」
(同研究は本誌53頁以下を参照。)

佐瀬 恵子 准教授

- 2 「表現者の主観的態様等と表現の拡散範囲による名誉毀損成否の判断方法」
(同報告レジュメは本誌127頁以下を参照。)

土平 英俊 准教授

